

# 昭和のやまぐち

## ～昭和39年東京オリンピックのころ②～

東京オリンピック・パラリンピック開催まで、1年を切りました。前回、昭和39年(1964)の東京オリンピックでは、9月18日から3日間をかけて、山口県内を聖火がリレーされました。県内各地で聖火を迎える歓迎行事が開かれ、オリンピックムードが高まりました。今回の展示では、前回の聖火リレーの様子を当館資料から見てみます。

### 【昭和39年東京オリンピックの聖火リレー】

8月23日にアテネを発った聖火はアジアの諸都市を経由して、9月6日に那覇に到着しました。沖縄島内を巡った後、9月9日に鹿児島に到り、その後は4つのコースに分かれ全国でリレーされました。これらの聖火は東京で合流し、10月10日の開会式で最終ランナー・坂井義則の手により聖火台に点火されました。

### 【山口県における聖火リレーと歓迎行事】

4コースのうち、山口県は第1コースにあたり、福岡県から引き継いだ聖火を、147区間、3,381人でリレーし広島県へ渡しました。主に山陽側の市町村を通過しています。

この間、県境と宿泊地では、①福岡県・山口県境引継式、②山口市到着式、③山口市出発式、④柳井市到着式、⑤柳井市出発式、⑥山口県・広島県境引継式の各式典が行われています。

沿道では、児童生徒による演奏をはじめ、盛んな声援が送られました。特に下関市、小野田市、宇部市、山口市、防府市、徳山市、下松市、光市、柳井市、岩国市、和木村では聖火の到着時間にあわせて「聖火を迎える市民のつどい」が開催されています。これは「オリンピック国民運動」の一環として、山口県健民運動推進協議会が中心となり行ったものです。

それでは、この間の様子を「聖火リレー関係」(行政文書戦後 A 県教委 1339)から見てみましょう。

### 【山口県・福岡県県境引継式】

聖火は福岡県からは関門海峡を船で渡り、下関駅栈橋で引継式が行われました。

- 9:30 ブラスバンド入場  
「ブラスバンドの入場です。ブラスバンドは下関幡生工業高等学校生徒 45 名、指揮者は野沢です。」
- 9:31 演奏開始
- 9:35 山口県リレー隊入場  
「山口県第 1 区のリレー隊入場です。」
- 9:40 山口県関係者栈橋整列  
「間もなく福岡県の最終区リレー隊が到着いたしますので、県・市の関係者は、栈橋へ御整列願います。」
- 9:45 福岡県リレー隊上陸  
「福岡県の最終区リレー隊が栈橋に到着いたしました。福岡県、山口県の式典関係者は式典場の方へお並び願います。」
- 9:48 福岡県リレー隊入場  
「昨夜、和布刈で燃えつづけたオリンピックの聖火は、ただ今、福岡県の最終リレー隊に捧持され、本州入りいたしました。」
- 9:50 開式通告 (山口県保健体育課長)  
「ただ今より、オリンピック東京大会聖火の福岡県・山口県境の引継式をおこないます。」
- 9:51 あいさつ  
オリンピック東京大会組織委員会代表 宮崎 操  
オリンピック東京大会聖火リレー福岡県実行委員会会長 安川 寛  
オリンピック東京大会聖火リレー山口県実行委員会会長 橋本正之

9:56 聖火の引継

「聖火の引継をおこないます。

福岡県最終区リレー隊正走者平野憲司より山口県実行委員会会長橋本正之へ、県実行委員会会長より下関市実行委員会会長木下友敬へ、市実行委員会会長より山口県第1区リレー隊正走者財津高光へと引継がれます。」

(正走者誓いの言葉)

「山口県のオリンピック東京大会の聖火を無事リレーすることを誓います。」

9:58 閉式通告

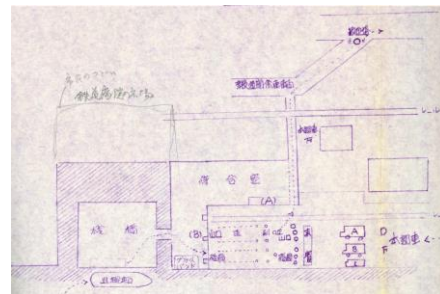
「以上もちまして、県境引継式をおわります。間もなく出発いたします山口県第1区のリレー隊は正走者下関幡生工業高校財津高光、副走者大平孝雄、山田勝明、随走者文洋中学校男子14人女子6人計20人で編成されています。」

10:00 リレー隊出発

「リレー隊出発。山口県内147区間217.6km、山陽路のリレーコースへと出発いたします。リレーの無事を祈念し、さかんな拍手をもって送り下さい。」



聖火入港(『教育広報』1964年9月号)



下関駅棧橋会場図(前記「聖火リレー関係」)

こうして送り出されたオリンピック聖火は、沿道からの声援を受けながらリレーされていきました。

【山口市到着式】

初日の宿泊地は山口市で、県庁玄関前広場を会場に到着式が行われました。中央には「三本の矢」をあしらった聖火皿が据えられました。

ブラスバンド整列

18:53 関係者整列

18:58 リレー隊入場

「けさ10時、福岡県より引継がれた聖火は、61区間91.2kmをリレーされ本日の最終リレー隊、正走者山口大学学生福島勝海、副走者山口高校秋山正義、迫田信一、随走者山口大学教育学部付属山口中学校生徒により捧持され到着いたします。」

18:59 開式通告

「ただ今よりオリンピック東京大会聖火リレー山口市到着式をおこないます。」

18:59 聖火皿点火

「聖火は本日の最終正走者福島勝海により聖火皿にうつされます。」

(最終区聖火リレー正走者あいさつ)

「本日のオリンピック東京大会の聖火リレーを終了しました。」

19:01 あいさつ

オリンピック東京大会組織委員会代表 宮崎 操

オリンピック東京大会聖火リレー山口県実行委員会会長 橋本正之

オリンピック東京大会聖火リレー山口市実行委員会会長 兼行恵雄



7:59 閉式通告

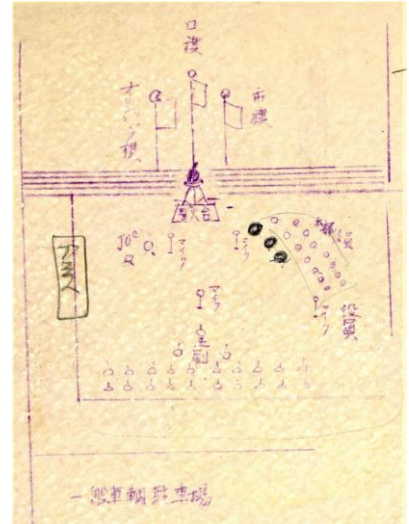
「以上をもちまして、聖火リレーの柳井市出発式を終わります。本日も山口県の若人 621 人のリレー隊により、27 区間 391 km を走破して広島県へ引継がれます。聖火リレーの無事を祈念して、さかんな拍手をもってお送りください。」

8:00 リレー隊出発

(マーチ・狼煙)



周南市戸田付近(『県政やまぐち』1964年10月号)



柳井市出発式会場図(前記「聖火リレー関係」)

【聖火を迎える市民のつどい】

沿道の 10 市 1 村で、聖火の到着時間にあわせて「聖火を迎える市民のつどい」が開催されました。このつどいの内容は次のとおりです。

「聖火を迎える市民のつどい」次第

ブラスバンド演奏

- 1 開式のことば
- 2 主催者あいさつ  
県健民運動推進協議会長  
開催市(村)長
- 3 記念樹贈呈  
県教育長より市(村)長へ
- 4 「聖火を迎える市民のつどい」誓いのことば  
市(村)民代表
- 5 県民歌合唱
- 6 閉会のことば



記念樹贈呈(山口市会場)(『教育広報』1964年9月号)